

■はじめに

この「基本フロアルール」では、大会の決まりごとの中でも、特に大切なことについて説明しています。ファイターの皆さんは、この内容をしっかり確認して、大会に参加しましょう。より詳しい内容について知りたい方は、「応用フロアルール」をご確認ください。

■フロアルールとは

フロアルールには、大会が公平にきちんと行われるための決まりごとが書かれています。ファイターをはじめすべての参加者は、お互いに協力して、みんなが満足できる大会になるよう心がけましょう。

第1章 ファイターとしての責任

・フェアプレイを心がけましょう

みんなが満足できる大会になるよう、正しいプレイをして、相手に対してもていねいな受け答えを心がけましょう。また、大会スタッフのアナウンスはしっかりと聞きましょう。

・やってはいけないことを行ってはいけません

ルール違反や不正行為は行ってはいけません。また、誰かを傷つけるような発言や行動を行ってはいけません。

・デッキや筆記用具はきちんと持参しましょう

大会に参加するために必要なデッキや筆記用具は、忘れずに持ってきてましょう。また、デッキに使っているカードの枚数や、スリーブに傷や汚れがついていないかも、事前にしっかりと確認しましょう。

・コミュニケーションをしっかりととりましょう

ファイトは一人でするものではありません。相手としっかりとコミュニケーションをとって、ファイトを楽しみましょう。いろいろな宣言や、カードの移動は、相手に確認してもらいながら行ってください。

・わからないことはジャッジに聞きましょう

ファイト中、ルールでわからないことが出てきたり、相手と意見が分かれてしまった場合は、その場で手をあげてジャッジを呼んで確認してもらい、ジャッジの判断を守ってゲームを進めてください。

第2章 カードとスリーブ

・正しいカードを使いましょう

大会ではブシロードが発売・配布している本物のカードだけが使えます。ニセ物のカードを使ってはいけません。

・正しいスリーブを使いましょう

裏や横から見てカードの見分けがつくようなスリーブを使ってはいけません。また、表に書かれているファイトに必要な情報(テキストやアイコンなど)がかくれるようなスリーブを使ってはいけません。

・カードは正しい位置に置きましょう

ファイト中は、別の場所のカードと混ざらないように、きっちりと分けてカードを置きましょう。また、手札をテーブルより下に持って行き、相手から見て隠れるようにしてはいけません。

第3章 シャッフル

シャッフルをする時は、相手に見える位置で、ランダムになるようにしっかりと行ってください。

「ランダムにする」とは、「どこにどのカードがあるかがわからないようにする」ということです。

「このカードの次のカードはあのカードだろう」
(例:ヴァンガードのトリガーユニットが連続している)
「あのカードはだいたいきれいに散らばっているだろう」
(例:ヴァイスシュヴァルツのクライマックスが均等になっている)
「一番下のカードはあのカードではないだろう」
(例:ChaosTCGでデッキの一番下がパートナーにならないように操作してシャッフルをした)

このようになっているだろうと予想できる状態は、ランダムになっているとは言えません。十分にシャッフルを行ってランダムにしてください。

シャッフルの手順例

- ①ピンズーシャッフル(固まりを上積み直す切り方)を数回
- ②ディーラーシャッフル(1枚ずついくつかの山に分けてからひとつひとつまとめる切り方)または、ファローシャッフル(半分に分けたカードを合わせて押し込んでまとめる切り方)とピンズーシャッフルを組み合わせる回数
- ③ピンズーシャッフルを数回

シャッフルを行った後は、確認の意味を込めて、相手にカットやシャッフルを行ってもらいましょう。

相手のシャッフルがちゃんとできていないと感じた場合は、相手に対して再度シャッフルするよう求めるか、ジャッジに確認してもらいましょう。

第4章 大会の種類

ブシロードでは、主に以下の3つの大会形式で大会を行います。なお、ファイターの成績が同じで、それでも順位を決める必要がある場合(例:入賞者や予選通過者を決める場合)は、ファイターが対戦した相手の成績などで順位を決めることがあります。

・スイスドロー

全員参加型の大会方式です。1回戦目は、ランダムな方法でマッチングを行います。2回戦目からは、自分と同じか、自分と近い成績のファイターと対戦を行います。

・ダブルエリミネーション

勝ち残り式の大会方式です。全勝のファイターと1敗のファイターだけが次の対戦を行います。

・シングルエリミネーション(トーナメント)

勝ち残り式の大会方式です。試合に勝ったファイターだけが次の対戦を行います。

第5章 ファイト中に気をつけること

ファイト中、緊張してしまったり、熱中しすぎてしまったりして、どうしてもうっかりミスは起きてしまうものです。ここで、よくあるミスの例を紹介します。こういったことにいつも気をつけることで、ミスの数を減らし、満足できるファイトができるようにしましょう。

もし、こういったことが実際に起こってしまい、ファイトが進められなくなってしまう場合は、その場でプレイを止めて、ジャッジに確認してもらうようにしてください。

①自動能力のプレイを忘れない

特に自分のカードの能力が、どのような条件で発動するのかは、あらかじめしっかりと確認しましょう。また、相手のカードについても、能力を確認して、お互いに忘れないようにしましょう。

②山札などの見てはいけないカードを見ない

山札(デッキ)の一番上がめくられて表向きになってしまうなど、公開されていないカードの内容を見ってしまうことがないように注意しましょう。

③間違っただけで多くカードを引かない

「2枚引く」場合に3枚引いてしまったりして、余分にカードを引いてしまうことがないように注意しましょう。まとめてカードを引くと、何枚引いたかがわからなくなったり、余分に引いてしまうことがあるので、相手にも確認してもらって、1枚ずつ引くようにしましょう。

④必要以上に考え込みすぎない

ファイト中の重要な場面で、あまりに考え込みすぎたり、何度も同じことを確認したりして、必要以上に時間を使ってしまった結果、それがスロープレイになってしまうことがあります。お互いに気をつけあって、時間内にファイトが決着するよう心がけましょう。

⑤過度なハンドシャッフルを行わない

普段からハンドシャッフル(手札のカードの順番を入れ替えること)を行なうクセがあると、緊張したり熱中することで、気づかないうちに、回数が必要以上に増えたり、力強くしてしまうことがあります。

パチパチと大きな音が出るようなハンドシャッフルや、必要以上にハンドシャッフルを行うと、カードが痛んでしまい、カードの区別がついてルール違反になることがあります。また、相手がビックリしたり、こわく感じて、楽しくファイトができなくなってしまうので、行わないようにしましょう。

⑥対戦後のマナーを守る

勝利が決定した瞬間に相手のことを忘れて気づかずに大声を出したり、敗北した後に相手のあいさつを無視したりすると、せっかくのファイトが台無しになってしまいます。

対戦が終わったら、「ありがとうございました」とあいさつしたり、握手を交わしたりして、勝っても負けても相手を尊重して、気持ちのいいファイトにしましょう！！

《更新履歴》

2012年8月15日 ver.1.00 適用開始